

明治・大正の女性運動家たち

日本の婦人雑誌はある共通した歴史的役割を担い続けてきました。それは、女性の社会的位置を探るという役割です。もちろん、どのように女性を位置づけるかにおいてその立場は多様であり、良妻賢母主義を主張するものもあれば、合理的生活の指針を提供しようとするものもありました。また、社会主義社会の実現と女性解放を結びつけるものやラディカルな女権拡張を唱えるものもありました。しかしそのどれにも通底していたのは、女性はいかにして近代に生きるかという問題意識です。

明治から大正にかけての婦人雑誌は、近代的自我を獲得しようと戦った女性達の舞台となり、「廃娼論争」、「母性保護論争」、「社会主義論争」、「恋愛論争」といった女性開放論争が展開されました。

岸田俊子

文久3(1863)年～明治34(1901)年

男女同権のさきがけとして女性解放を訴えたのは、のちに自由党副総裁中島信行と結婚し中島湘煙と号した岸田俊子です。1884年自由党機関誌『自由の燈』に、女性によるわが国最初の男女平等論といわれている「同胞姉妹に告ぐ」を發表し、封建時代から続く女性差別を鋭く指摘します。1888年頃にはフェリス和英女学校で教鞭もっています。

福田英子

慶応元(1865)年～昭和2(1927)年

岸田俊子の演説を聞き女性解放に目覚めた岡山の若い女性がいました。女性解放運動家として知られ「東洋のジャンヌ・ダルク」と呼ばれた福田英子です。

自由民権運動に身を投じ活躍しましたが運動が下火になると幸徳秋水、堺利彦らの平民社に参加、社会主義運動に加わります。平民社解散後は『世界婦人』を創刊し、主筆として腕を振るいましたが、当局の取り締まりが強化される中厳しい生活を強いられました。

平塚らいてう

明治19(1886)年～昭和46(1971)年

戦前戦後を代表する女性解放運動のリーダーとして知られています。

『青鞥』や『婦人公論』といった雑誌で妊娠・出産・育児期の女性は国家によって保護されるべきだという「母性中心主義」の主張を展開。国家による母性保護を否定し、婦人は男子にも国家にも寄りかかるべきではないと主張した与謝野晶子と誌面上で「母性保護論争」といわれる論争を繰り広げました。

後に社会主義的立場から論争に加わった山川菊栄からは、両者ともに批判を受けることになります。

山川菊栄

明治 23 (1890) 年～昭和 55 (1980) 年

戦前は女性解放運動や女性労働運動の理論的指導者として活躍、「廃娼論争」「母性保護論争」「社会主義論争」など多くの論争に参加しました。特に「母性保護論争」では与謝野、平塚の経済的自立か保護かの対立を批判し、差別のない社会でしか女性解放はありえないと社会主義の立場から新たな視点を提供しました。

その切り口の鋭さ、知識の豊富さ、論理の厳正さは群を抜いています。

戦後は、初代労働省婦人少年局長として、女性と年少労働者の「保護・福祉」行政に活躍しました。その後『婦人の声』を創刊、女性問題研究の後進育成にも努めました。神奈川県立かながわ女性センターの「山川菊栄文庫」には旧蔵書や書簡などのコレクションが保存され貴重な研究資料として利用されています。

市川房枝

明治 26 (1893) 年～昭和 56 (1981) 年

婦人参政権運動で著名な政治家です。1919年に平塚等と「新婦人協会」を結成し、1924年に「婦人参政権獲得期成同盟会」結成に参加。婦人参政権こそが平等で平和な社会を築く手がかり「鍵」であるという信念のもとに、婦人参政権運動を展開しました。

戦時中に大日本報国言論会理事であったため戦後公職を追放されますが、追放が解かれた後は長年にわたり国会議員を務め、公娼制度復活反対や売春禁止、再軍備反対などの運動にも取り組みました。

伊藤野枝

明治 28 (1895) 年～大正 12 (1923) 年

伊藤野枝は青鞥社に通い始め、集まった女性たちから強い刺激を受けました。

1915年に雑誌『青鞥』の編集・発行を平塚から受け継ぐと知識階級の女性だけでなく一般女性にも誌面を解放。創作・評論・編集に活躍し、『青鞥』を文芸雑誌から女性評論誌、あるいは女性論争誌と呼ぶべきものに変えていきました。また中流階級婦人による廃娼運動を、娼婦の境遇に対して理解なきまま「醜業婦」の名を浴びせる偽善として厳しく批判しました。

奥むめお

明治 28 (1895) 年～平成 9 (1997) 年

『労働世界』の記者時代、富士瓦斯紡績に女工として潜入取材したレポートで注目されました。1919年に平塚等と「新婦人協会」を結成。1923年には雑誌『職業婦人』（のちに『婦人と労働』→『婦人運動』と誌名を変更）を発刊して活動します。戦後は長期にわたり国会議員を務めた他、主婦連合会を立ち上げ、消費者運動を指導しました。